

見る楽しみ・読む楽しみ

「田上菊舎」書籍ご案内

200年の時代を経て甦る雲遊紀行
田上菊舎 著 初版1812(文化9)年

『手折菊』(復刻版) サイズ B5変型版
定価5,000円

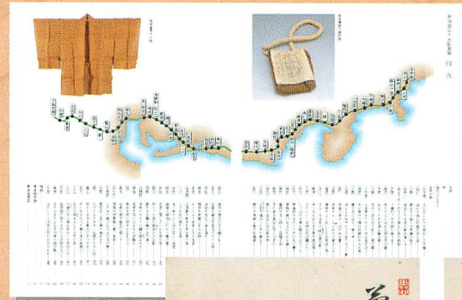
彩色の原画・解説付

『東海道五十余駅画賛』

サイズ A4変型版
定価1,000円



誰でも読める翻刻付



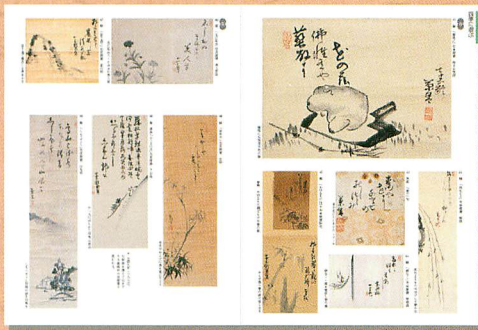
オールカラー図録

『雲遊の尼 田上菊舎』

『田上菊舎 絵はがきぶっく』

サイズ A6版
(16枚)

切り離して使えます 定価700円



サイズ A4変型版
定価3,000円



四季別・186句所収

『一字庵 菊舎俳句集』

サイズ A6ポケット版
定価700円



『菊舎研究ノート』

サイズ A5版
定価700円



研究会メンバーの現地調査や検証作業により、次々に明らかになる菊舎の軌跡をまとめた話題のノート
(2006年より年一度発行)

各界の著名人が菊舎の魅力を語る

『フォーラム 雲遊の尼 田上菊舎』 定価300円
完売しました。

菊舎顕彰会

〒759-5512 山口県下関市豊北町田耕 Tel/Fax 083-783-0734

URL: www.kikusha.com E-Mail: info@kikusha.com

菊舎 Q&A

Q 田上菊舎ってどんな人？

A 田上菊舎は、長府藩士の長女として1753(宝暦3)年、長門国田耕村(現山口県下関市)に生まれました。24歳で夫と死別した後、俳諧に生きることを決意、髪をそぎ尼となって諸国行脚の生涯をおくりました。

Q どんな俳句を作ったの？

A ユーモアあふれる句、素直な句、詩心豊かな句、大らかで開放的な句など、雲遊の尼らしい自在な境地から、たくさんの俳句を詠んでいます。

月を笠に着て遊ばばや旅のそら (29歳、旅立ち)
薦こも着ても好な旅なり花の雨 (38歳、旅中)
山門を出れば日本ぞ茶摘みうた (38歳、宇治万福寺)
雲となる花の父母なり春の雨 (68歳、長府)
故郷や名もおもひ出す草の花 (72歳、田耕)

Q 俳句のほかに、どんな活躍をしたの？

A 漢詩・書・画・七弦琴・和歌・茶道などの諸芸に通じ、独自の芸術世界を完成させた希有の文人です。

Q 旅をしたということですが、どこへ行ったの？

A 近世の女性俳人の中で、彼女ほど旅をした人はいません。最初の旅は、1781(天明元)年、長府を出発、萩・防府・大坂・京都・美濃・北陸・東北をめぐる大行脚。その後も江戸、京大坂、九州など旅に明け暮れましたが、そのほとんどがひとり旅でした。

田上菊舎関連書籍 FAX申込書 E-Mail : info@kikusha.com 申込日 年 月 日

■手折菊-5,000円(冊) ■図録-3,000円(冊) ■俳句集-700円(冊) ■~~フォーラム-300円(冊)~~

■東海道五十余駅画賛-1,000円(冊) ■田上菊舎 絵はがきぶっく-700円(冊) ■菊舎研究ノート-700円(冊) ※送料別

お名前

TEL - -

FAX - -

ご住所

郵便番号 (-)

FAX 083-783-0734

まずFAXまたはE-mailで(ハガキの場合は表面の住所へ)お申込み下さい。書籍とともに郵便振込用紙をお送りしますので、2週間以内にご入金下さい。